

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成20年10月31日		
		作成部署	建設交通部砂防課		
事業名	平地川 通常砂防事業	地区名	与謝郡 与謝野町 幾地		
概算事業費	1.4億円	事業期間	4ヶ年		
事業概要	砂防えん堤 1基				
目指すべき環境像	当該箇所は、二級河川岩屋川左岸に位置している。土砂移動を軽減することにより集落内及び野田川への土砂流出を防ぎ、生物の生育環境の保全と、長期的に見た景観の保全を目指す。地域住民の安心・安全を確保すると共に、地域の生活環境の保全に努める。 当該箇所は溪流内の荒廃が進んでいることから、針葉樹と広葉樹の低木が粗に混在する。				
関連する公共事業	なし				
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点					選定要否
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	溪流内が荒廃し、山腹斜面の崩壊が発生しているため、山腹斜面を含む溪流周辺の地形の保全を図る必要がある。	砂防えん堤を設置することで、山腹斜面の崩壊の防止と、溪流周辺の土砂移動の抑止および、現地地形と植生の早期回復を図る。 土砂移動の抑止のための対策工について、出来る限り溪流保全工を実施せず、地形の改変量を極力少なくする計画を検討する。		
	地形・地質			○	4
	物質循環(土砂移動)			○	4
	野生生物・絶滅危惧種			○	3
	生態系			○	3
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	当該箇所は、人家が密集しており、事業実施において工事車両の通行等による騒音・振動の発生が予測されるため、これを抑制する必要がある。 また、建設発生材を、極力リサイクルする必要がある。	工事実施中は、低騒音・低振動機械を使用することを原則とする。 粉じん対策として、散水防塵シートを使用する等、日常生活に支障が無いよう配慮する。 また、建設発生材は当該工事や近傍の公共・民間工事と調整し、再利用に努める。		
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動			○	3
	廃棄物・リサイクル			○	3
	化学物質・粉じん等			○	3
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	当該箇所は、住宅地近傍に里山景観を残している箇所であり、植生等の景観の改変量を最小限にする必要がある	材料の選定にあたり、現地採取材料の使用や在来種による掘削の法面の復旧を図るなど、地域の自然景観と調和したものとする。	3	
	里山の保全			○	4
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働				
	その他				